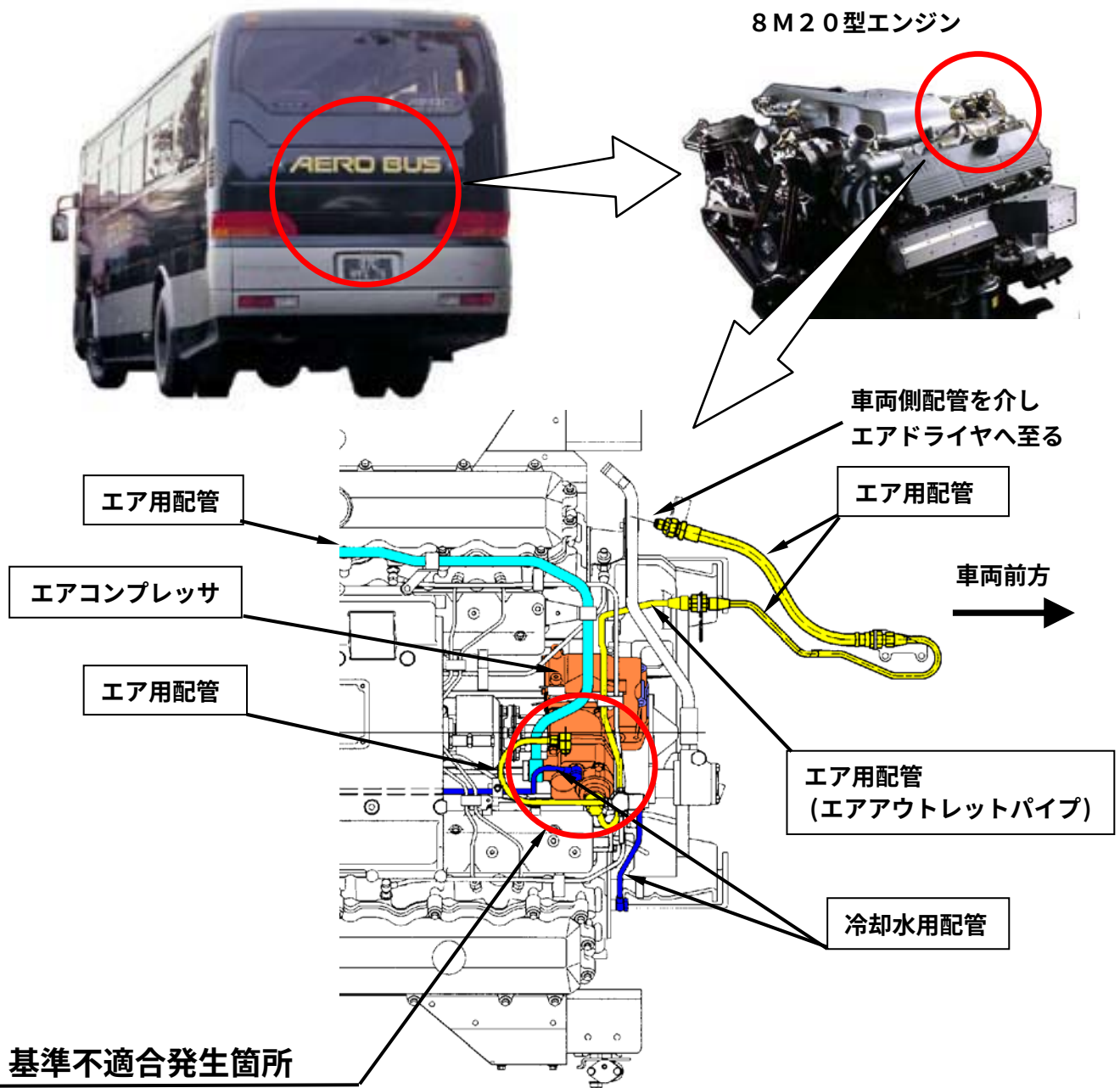


改善箇所説明図



エアコンプレッサのエア吐出温度が高いため、エアアウトレットパイプ内部にコンプレッサの潤滑油が炭化して堆積する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該パイプ内部の堆積物が加熱されてパイプに穴があき、エアが漏れて充填できなくなり、最悪の場合、制動力が低下する、又は、フィンガコントロール変速機搭載車は、変速操作ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該コンプレッサを点検し、対策品が装着されていない場合には、当該コンプレッサ、エア用配管、及び冷却水用配管を対策品と交換し、エアドライヤまでのエア充填配管を清掃する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、左後部エンジン点検リッド裏上方の見やすい位置に「HB-27」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。